

※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

発行：玉名市教育委員会 コミュニティ推進課

玉名市地域学校協働本部
事業だより第108号
令和7年11月7日

11月に入り、急に気温が下がってきました。児童生徒もですが、関係者の皆様の体調はいかがですか？

学校では、この時期が一番充実した教育活動が行える時期だと思います。今後も子供たちの学びが充実しますようお力添えをよろしくお願いします。

今回は、玉南中学校区（八嘉小学校、玉南中学校、伊倉小学校）の様子を紹介します。

八嘉小学校

1.「お米を作ろう～田植え・稲刈り体験」5年総合



5年生は、6月に田植え、10月に稲刈りを行いました。地域で農業をされている縄田さんにご指導いただき、貴重な体験をすることができました。田植えでは、田んぼの中に入るのが初めての児童が多く、最初は緊張していましたが、「泥の中に入るときは気持ちよかったです」などの声も聞かれました。稲刈りでは、鎌の使い方や刈り取りのコツを教えていただき、最初は苦戦しながらも、次第に上手になっていきました。自然とふれあい、食の大切さを学ぶ良い機会となりました。

2.「七夕飾りつけ」1年生生活

1年生は、地域のボランティアの皆さんにお手伝いいただき、七夕の飾りつけを行いました。子どもたちは楽しそうに折り紙や短冊を作り、願いごとを丁寧に書きました。きっと、みんなの願いが空へ届いたことでしょう。



3.「校区の歴史を学ぼう～八嘉物語」6年総合



6年生は、郷土史家の谷口さんを講師にお迎えし、八嘉地区の歴史についてお話を伺いました。「八嘉」という名前の由来や、学校が今の場所に建設された経緯や建設に関わった地域の方々の思いなど、子どもたちにとって初めて知ることばかりで、熱心にメモを取りながら聞き入っていました。ふるさと八嘉をさらに大切にしようという気持ちを深めることができました。

4.「校区の自慢～花づくりのまち八嘉」3年総合

3年生は、毎年恒例の「花づくり」に取り組んでいます。八嘉花づくり委員会の西住さんや廣田さんをはじめ、地域の方々のご指導をいただきながら、9月に種まき、10月にポット上げを行いました。11月には国道208号沿いの花壇に花植えを行う予定です。花を育てる活動を通して、命の大切さを学び、郷土「八嘉」を愛する心を育んでいます。



5.「お話会」図書委員会



読書月間の取組の一つとして、地域のボランティアの皆さんによるお話会（読み聞かせ）を開催しました。

子どもたちはお話に夢中になって聞き入り、語り手の方々も「どのように読めば伝わりやすいか」を考えながら、読み聞かせをしてくださっています。「子どもたちの前で読むことがとても楽しいです」とのお声もいただいております、子どもたちにとって心温まる、楽しいひとときとなっています。

玉南中学校 1. 見守り活動

地域住民の方が毎日小中学校の子どもたちの安全を守ってられます。ここは交通量が多く、本校通学路の中で最も危険な場所です。定期的に交通安全協会や玉名警察の方々も交通指導をしていただき、今年も事故等がなく安心して登校できています。



2. 校内駅伝大会後のだご汁 校内駅伝大会の先導



地域学校協働活動推進員が八嘉婦人会、伊倉女性の会およびPTA役員と連絡調整を行い、駅伝大会時に「だご汁」を用意していただいています。子どもたちには大好評で何杯もお代わりする姿は毎年の風物詩となっています。推進員は駅伝時の先導をPTAと協力して行っています。

3. 「大人とのしゃべり場」トーク・フォークダンス

大人も子どももいくつかのテーマのもと、次々と相手を変えて対話を深めていきます。これは生徒の自尊感情を高めるねらいがあります。学校と推進員の呼びかけにより保護者、地域住民、老人会、大学生、市PTA関係者等、老若男女たくさんの方々に参加していただきました。「有意義なひと時を過ごすことができた」「今の中学生はしっかりしている」等、大人も子どもにも大変好評でした。



4. 伊倉駅清掃ボランティア ◇八嘉夏まつりボランティア運営参画 ◇八嘉花づくり手伝い



毎月第2日曜日朝に中学生有志が駅の清掃活動を行っています。伊倉まちづくり委員会の皆様とともに草集めなど取り組んでいます。地域の大人からほめられると、子どもたちは自信がつき、とてもいい表情で頑張ることができます。

地域の夏祭りの運営に生徒も参加しています。猛暑の中、テントを立てたり、夜店の運営を任されたりして、積極的に活動する姿は、地域の担い手として頼もしく感じます。

在校生だけでなく、ここ数年は卒業生も参加するなど、その輪が広がっています。

種まきと苗のポット上げに中学生も参加しています。今年もパンジー等の苗をたくさんいただき、学校で育てています。根気のいる作業ですが、地域の方と和やかな雰囲気の中で活動しています。

5. 伊倉駅にマリーゴールド贈呈 ◇ふれあいセンターで運営協力 ◇福祉レクリエーション大会協力





5月のPTA美化作業や8月のPTA親子美化作業に、地域学校協働活動推進員の呼びかけで、地域の老人会の皆様の協力を得ることができた。また、地域の交通安全指導員の皆様も協力してくださった。保護者と地域の方、子どもたちと伊倉校区の皆様の協力を得て校内の美化作業を行うことができた。

2. 【愛校作業（花壇の手入れ）】



6月、9月の委員会活動をかねた愛校作業に、地域学校協働活動推進員の呼びかけで、地域の老人会の皆様の協力を得ることができた。6月は、草がたくさん生えていた花壇がみるみるきれいになった。9月は正門からの通路（プロムナード）のカイズカイブキやフェンスの蔓などもきれいに整えることができた。

普段水かけをして花を育てている栽培委員を中心に、他の委員会の児童も老人会の皆様と一緒に活動し、地域の方と触れ合うことができた。

3. 【6年平和学習】



10月1日、6年生の平和学習の一環として、九州地方や熊本県、玉名市、そして、地元伊倉の戦争の時代のお話を地域学校協働活動推進員の松本さんにしていただいた。修学旅行前に地域の歴史を知る、戦争の現実を知ることで、より身近なこととしてとらえることができていた。

たくさんの資料や文献をもとにお話をしていただき、子どもたちは「地元である伊倉や玉名の戦争の話を聞くことができて、平和な日常の大切さを感じた」「さらに詳しく調べたり、聞いたりしたくなった」「平和を大切にしていきたい」との思いをより強くもつことができた。

4. 【3年生社会科】



10月6日、3年生の社会科学習の一環でJR肥後伊倉駅までの土地の様子や駅、交通の様子を見学した。これまでに土地の高低や商店街等の様子も学習してきた。この日は、肥後伊倉駅の環境美化に尽力されている伊倉まちづくり委員会の方からもお話を伺い、地域の方が駅を大切にされていることやその活動に対する思いも学んだ。JRの職員の方からお話を伺ったり、電車の通る様子も見学したりした。子どもたちは「肥後伊倉駅の歴史がとても長いことにびっくりした」「駅がきれいになってよかった」「トイレもきれいだった」「いつもきれいにしてくださる人にありがとうございます」と初めて知ることに驚いたり、地域を支えてくださる方への感謝の気持ちをもったりしていた。